

紫波町長 熊 谷 泉 様

令和4年度の市民参加条例対象事項として各課が実施した取り組みについて、当会議の意見をまとめましたので提出いたします。

令和5年3月31日

紫波町市民参加推進会議
委員長 原 千保子



令和4年度市民参加事後評価

① 紫波町投票区再編計画（選挙管理委員会）

- ・市民参加が4月に集中していたため、前年度から市民参加推進会議にかけすべき案件であった。
- ・実際に取り組んだ内容は市民に寄り添っていて、結果的に投票率の上昇に貢献されたと思う。

② 第2期紫波町空家等対策計画（都市計画課）

- ・事前評価に対して積極的な改善が行われた。
- ・市民の関心を高めるためにも、公式ツイッター等の随時情報発信ができるツールを活用する必要がある。
- ・行政区長懇談会等で意見を聞きに足を運んだことが良かった。また、意見公募の周知の場として利用した点も良かった。
- ・アンケート調査の回収率を上げるために、所有者が転出届を提出したり、家族が死亡届を提出した際にアンケート用紙を渡すなど、実施する時期を考慮するべきである。

③ 児童館機能の整理について（こども課）

- ・声をきめ細かく拾うために、地元で説明会を開いたり、日時を参加しやすいタイミングにするなど、工夫がされていて良かった。
- ・事前評価に対して、タイトルを変更するなど、適切な対応がなされた。
- ・意見交換会を2カ所で開催し参加者が計5人と少なかったが、市民参加を実施した結果を町広報誌等で周知を図ったことは望ましい。

④ 国土利用計画紫波町計画（第2次）（企画課）

- ・意見交換会は各地区のまちづくり座談会で資料を配布したのみで、説明や意見交換を行う機会はなかった。
- ・意見交換会と意見公募の期間が大きく空く場合の配慮について事前評価で意見されたが、対応が不十分だった。
- ・意見公募の際に作成した概要版の資料が分かりやすかったので、今後も継続してほしい。また、SNS等で広めてほしい。
- ・概要版の資料について、できるだけ多くの町民の目に触れるように公開するべきであり、町ホームページへのアクセス数等の分析を行い次回に繋げていく必要がある。

⑤ 紫波農業振興地域整備計画（農政課）

- ・市民参加を活用して、町の基幹産業である農業への関心を高め、より幅広い層の参加の機会を作ることが重要であり、計画の対象者以外にも届く方法で情報発信していくことが有効である。
- ・それぞれの地域や分野のキーパーソンを通じて情報を周知する方法が良かった。
- ・より多くの市民の声を拾うために、意見交換会にワークショップ形式を取り入れれば良いと思う。

⑥ 紫波町地域福祉計画（健康福祉課）

- ・追加案件となり、書面での事前評価となったことは残念だが、計画は予定通りに進められ、意見交換会に挙げられた内容を施策へ反映するなど、充実した取り組みだった。
- ・ホームページやアプリを使った情報発信を他課へ依頼するという連携が良かった。
- ・5月に広報と一緒にダイジェスト版が届くなど、アフターフォローがしっかりしていて良いと思う。
- ・関連する既存の会議に出向いて、意見公募を実施することをアナウンスしたり、意見交換会で参加者にアンケートを実施したり、意見公募へと誘導する効果的な手法を巧みに織り交ぜた市民参加を実践した。